

消防学校だより

令和6年6月号

発行年月日 令和6年6月28日
発行 宮崎県消防学校

初任科 消防活動訓練（消防操法）

6月3日（月）、ホース延長や筒先結合など、消防活動を行う際に必要となる基礎的な操作の方法を訓練しました。なぜ真っ直ぐに伸ばす必要があるのか、注水角度はなぜこの角度なのか、一つ一つの動作の意味を考え実施しました。



初任科（特殊災害）

6月12日（水）、特殊災害の授業において、乾的除染要領を実施しました。目に見えない対象の除染は、除染効果がわかりにくい分、綿密に実施することや、自らに付着しないように行う必要があることを学びました。



初任科（プール清掃）

6月19日（水）、水難救助訓練を前にプールの清掃を実施しました。1年の汚れをきれいに落とし訓練に備えました。



救助科（入校）

6月17日（月）、第35期救助科に県内消防局・消防本部から16名が入校しました。

これから7月12日（金）までの約1ヶ月間、救助業務に関する一般的な知識、技術の習得、並びに同期との絆づくりに励みます。



表敬訪問

6月18日（火）、コロンビア共和国 ボゴタ市消防局 消防教官のアドルフォ・サバラ・ニーニョ氏（写真中央）が本校を表敬訪問されました。

この訪問は、JICAの事業で2018年から2020年の2年間、コロンビア共和国消防庁に派遣されていた都城市消防局 児玉 徹消防司令（写真左側）の案内で来校されました。

本校の施設や、資器材を見学された後、救助科が行っていた体力測定にも参加され、交流を深めました。



救助科（電気事故対策）

6月19日（水）、九州電力送配電株式会社宮崎配電所から講師に来ていただき、電気事故対策訓練を実施しました。電気災害の基礎知識を座学にて学んだ後、実際に電柱を使用し訓練を行い、柱上での救出の要領を習得しました。



救助科

（玄関ドアの構造と開放要領・ガラスの種類と強度）

6月20日（木）、株式会社LIXIL 守口 剛氏、AGC グラスプロダクツ株式会社 伊部 直人氏を講師に招き、玄関ドアの開放、各種ガラスの破壊を行いました。



救助科（エレベータ事故対策）

6月21日（金）、株式会社イーデンから講師に来ていただき、エレベータの構造や、救出要領について学びました。エレベータ実機を使用し学習した事で、より良い訓練効果を得ました。



救助科（シャッターの構造と開放要領）

6月21日（金）、文化シャッターサービス株式会社から講師に来ていただき、シャッター開放要領を実施しました。使用するエンジンカッターのブレードで切断後の作業が変わってくる事など、開放に必要な技術、知識を習得できました。



救助科（チェーンソー取扱い訓練）

6月24日（月）、宮崎機械 戸郷 洋逸氏からチェーンソーの構造、取扱い及び整備の方法等を学びました。25日（火）には校外の山林に出向し、宮崎中央森林組合の指導の下、チェーンソーの基本操作、鋸断、伐倒等の実科訓練を行いました。



救助科（火災救助）

6月24日（月）、火災救助訓練を実施しました。火災性状の座学を行った後、注水技術、実火災体験、緊急避難行動の訓練を実施しました。



救助科（次世代自動車の構造と事故対策）

6月25日（火）、宮崎トヨタ自動車株式会社サービス部技術グループ 河野 剛士氏を講師に招き、自動車業界の動向、自動車の種類、事故対応について講義していただきました。



救助科（外傷アプローチ・交通救助）

6月26日（水）、都城市消防局特別救助隊を講師に招き、交通災害救助訓練を実施しました。交通救助では、対象車両の種別、状態を見て迅速に活動方針を決定し、救出活動と同時に危険排除を実施する事が求められるため、様々な事案を想定し訓練を実施しました。



救助科（山岳遭難救助）

6月27日（木）・28日（金）、日本山岳ガイド協会、国立登山研修所講師の笹倉 考昭氏を講師に招き、山岳遭難救助研修を実施しました。

1日目は入山前のプランニング、アンカーの構築と総合的な評価及び確保理論等の座学を行い、2日目の実科訓練では、初日に学んだ事の実践と救出訓練、搬送訓練を行いました。また、2日目には双石山にて現地訓練を行いました。西諸広域消防本部より 岡原 由典消防司令補に助教として来ていただき、安全に効果的な訓練を行えました。現地訓練終了後に、学校にて2日間の訓練を振り返り総括しました。



宮崎県消防学校

担当:伊豆元 優一(いずもと ゆういち)

電話:0985-56-0555 FAX:0985-56-1475

E-mail:shobou-s@pref.miyazaki.lg.jp